

住友生命健康保険組合の「データヘルス計画」

当健保では、これまでも加入者の健康増進のために様々な保健事業を実施しております。
既存の保健事業は効率的、効果的な運営で継続し、データ分析で得られた当健保の新たな課題は費用対効果やP D C Aサイクルを意識しながら解決を図ってまいります。
なお、新たな保健事業として、平成27年度は「30歳代からの生活習慣病罹患予防」および「糖尿病の重症化予防」に関する保健事業を実施いたします。

◇30歳代からの生活習慣病罹患予防

30歳代後半から生活習慣病に罹患し、一人あたり医療費も増加していくことから、従来40歳以上であった対象者を35～39歳にも拡大し、特定保健指導を実施する保健事業

◇糖尿病の重症化予防

健康診断で、糖尿病に関連する検査項目が相当に悪化しているにもかかわらず、治療実績が無い方を対象に特定保健指導を実施する保健事業

◇データヘルス計画として実施するその他の保健事業一覧

健康診断	特定健診
	人間ドック補給制度
	乳がん検診補給制度
保健指導	特定保健指導(40歳以上)
	生活習慣改善指導(35～39歳) 新
	糖尿病重症化予防 新
広報	機関誌「ヘルシーライフ」
	ホームページ

保険給付抑制	医療費通知
	後発医薬品差額通知
	電話健康相談「ハロー健康ダイヤル」
	家庭常備薬斡旋
軽運動	ウォーキングキャンペーン
	スポーツクラブ提携

新 平成27年度から新たに実施する保健事業